



川田靖子 / 著
私はパリの老人病院実習生

著者は仏文学者で、元玉川大学教授。仏文学を究めていたら、ひょんなことからホスピスとかかわることに。

終末医療の取り組みでは、パリでも進んだブルトニー病院。ここでボランティアとして働くこと4年。母を介護し、孫を持つ年齢になって老いを生きる意味を語る。

フランスは個人主義の国といわれているが、家族の結束は意外に強く、この施設にいるお年寄りにも、家族はたびたび会いに来ている。家族、スタッフ、地域とのかかわりが多いため、孤独感や疎外感から守られているという。

ここは公的施設だが、見学者が絶えない。日本の施設との違いも読み取れる。

勉強したくない！を活用するゆづき式逆転発想

勉強術 ゆづきゆう / 著

「マナ」勉強の最大のコツは楽しむことなんかじゃないの「ユウ」……！

マナ「暗記なのよ」

例えば、受験勉強を初めから楽しむのは無理がある。まずは暗記し、知識を入れて、それから理解していくのだと著者は述べる。

「学ぶ楽しさ」を否定したこの考えは、精神科医である著者が、心理学を受験テクニクに応用したものである。

「悔しさをバネにしてはいけない」「遊ぶことは罪じゃない」など心理学に基づいた斬新な発想ばかり。

受験生ユウと女教師マナの会話形式で進められ、息抜きがてら軽く読める一冊。



おすすめ絵本

「ドオン！」

山下洋輔 / 文 長新太 / 絵

オニの子と人間の子、どちらもやんちゃな子ども。出くわしたら大騒動の始まり始まり。

お父さんを中心に、家族で「ドンドンドン」。音とリズムを楽しめる絵本です。



新しく入った本ピックアップ

(7月1日～31日受入れ新刊約450冊)

- 小説・随筆など
 - あやしうめしあなかなし (浅田次郎 / 著)
 - 見えない貌 (夏樹静子 / 著)
 - あめふらし (長野まゆみ / 著)
 - 千秋の讃歌 (落合信彦 / 著)
 - ブラッドタイプ (松岡圭祐 / 著)
 - I W G P 6 灰色のピーターパン (石田衣良 / 著)
 - ドラママチ (角田光代 / 著)
 - 美しき日本の面影 (さだまさし / 著)
 - ウィンディ・ストリート (サラ・パレツキー / 著)
- そのほかの一般書
 - ブックショップはワンダーランド (永江朗 / 著)
 - 癒しの神話 (片岡鶴太郎 / 著)
 - あぐり白寿の旅 (吉行あぐり / 著)
 - 30代未婚男 (大久保幸夫 / 著)
 - 男女の怪 (養老孟司 / 著)
 - 無暖房・無冷房の家に住む (山本順三 / 著)
 - 定年起業 の始め方 (植葉啓文 / 著)
 - 恋する和文様 (藤依里子 / 著)
 - やさしい国語読解力 (後藤武士 / 著)
- 絵本・児童書
 - ガッタンゴットン (スズキコージ / 作)
 - くだものだもの (石津ひろ / 文)
 - そらまめくんのぼくのいちにち (なかやみわ / 作)
 - 南極のコレクション (武田剛 / 著)
 - ねずみ小僧六世 (星新一 / 著)
 - 幽霊派遣会社 (エヴァ・イボットソン / 著)

「夏休みはあとわずか…」夏休み中の子どものさんへの脅しの言葉？そんなことにならないよう、図書館を上手に使い、役立ててください。また返し忘れていた本がないかどうかご確認ください。

自習室ではありません

図書館は、本や資料をそろえ、それを利用してもらうことが基本目的の場所です。持ち込み勉強のみ、携帯電話とにらめっこするだけ、などのために長時間席を確保するのは、本来の図書館の使い方ではありません。

夏休み中は文化センターで空室がある場合、学習室としてご利用いただけます。

| 9月の休館日 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 青が休館日です | | | | | | |

「生きがいさまま作品展」生きがいデイサービス(福祉センター2階)に来られるお年寄りの方が作られた作品を展示します。ぜひ見に来てください。

9月のミニギャラリー

期間 9月1日(金) 27日(水)

医療情報トピックス

病院管理課

TEL 26-2111 内線527・528

市立恵那病院の外科と内科に、5月から7月にかけて、4人の医師が新しく赴任されました。医師からのあいさつを添えて紹介します。



あさひまさよし 浅野雅嘉 外科 病院長

7月から市立恵那病院で働かせていただくことになりました。

これまで県立岐阜病院に5年間、東白川村国保病院に6年間、岐阜市民病院に7年間、彦根の山崎病院に1年間、揖斐厚生病院に7年間、主に外科を中心に仕事をしてきました。

外科としては、甲状腺・乳腺・肺・食道・胃・十二指腸・肝臓・胆のう・膵臓・小腸・大腸(直腸)・肛門の病気(がんも含めて)の治療(手術)に力を入れていきます。

今までの経験を基に、市立恵那病院では、良質な医療の提供と、地域の皆さまから信頼される心豊かな病院づくりを目指し、努力したいと思っています。よろしくお願いします。



おおたひろあき 太田博彰 外科 外科科長

7月から市立恵那病院に外科医師として赴任してまいりました。赴任前は、県立岐阜病院で消化器外科全般にわたり、治療に当たらせていただいております。患者さんの声を聞き、苦しみを分かち合いつつ、患者さんにとって一番良い医療を提供したいと思っております。分からないこと、疑問点など何でも声を掛けてください。



にしはらけいじ 西原恵司 総合診療部・内科 総合診療科医師

5月から市立恵那病院にお世話になっています。

出身は愛知県西三河の山間部で、恵那市明智町に隣接する町です。

地域に必要な医療を勉強し、実践したいと考え、市立恵那病院への勤務を希望しました。年をとっていますが、医師になって7年目と、まだまだ経験は浅いです。市民の皆さんよろしく願います。



たかはしゆうこ 高橋優子 総合診療部・内科 総合診療科医師

6月から市立恵那病院に勤務させていただいています。出身は東京なのですが、自然が好きで、通勤の車から見える山や川の眺めがいつも私を笑顔にしてくれます。少しでも誰かの幸せにつながる医療ができたと思っています。まだまだ未熟者ではありますが、どうぞよろしく願います。

医師とお話していますか？

病気や治療のことで分からないことがあったとき、気兼ねなく何でも質問できる「かかりつけの医師」を持っていますか？

「先生の言うとおりにしていれば大丈夫！」という信頼感も大切ですが、病気は患者さんと医師の協力と理解があってこそ、克服できるものです。

自分の病気や治療法に関する質問や要望は、どんどん医師に伝えてください。

医師も、患者さんのことを第一に考えているのですから。

医療用語の説明

『特定保健用食品』

特定保健用食品とは、厚生労働省によって認められた「ある種の効果が期待できる食品」のことをいいます。例えば、これまでの食品には「エネルギー80キログラム」とか「炭水化物10ミグ」などの栄養表示しか認められていませんでしたが、特定保健用食品には「血圧の高めの方に適した食品です」などの具体的な「保健の効果」の表示が認められるようになりました。しかし許可審査は大変厳しく、体に良いとされる成分のメカニズムを、多くの実証実験によって検証しなくてはなりません。それだけに「特定保健用食品」のお墨付きをもらった食品は、健康食品の中の5つ星ということが出来ます。

